

2 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	<p>ターク県の医療施設への物資提供、新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）に関する医療者へのトレーニングにより、医療物資が充実し、また医療者の知識、技術が向上し、COVID-19 対応キャパシティが強化された。プロジェクト期間中に現地医療施設で小規模な院内感染が発生したが、直後の院内感染対策、啓発ワークショップの実施により、プロジェクト前年に発生した院内感染に比較してはるかに速やかに収束し、懸念された病院閉鎖には至らなかった。</p> <p>またミャンマー人移民コミュニティへの COVID-19 など感染症に関する健康教育、医療用品、衛生用品などの提供による人道支援により、コミュニティの感染症に関する知識の増加、生活の質の向上が得られた。その結果、ミャンマー人移民の医療及び健康状況が改善するというプロジェクト目標が達成された。またそれにより上位目標である、タイのミャンマー人移民とタイ社会の COVID-19 蔓延による脅威により悪化した医療状況の改善の一助となりえた。</p>
(2) 活動内容	<p>1) タイ国ターク県における新型コロナウイルス感染症対応キャパシティの強化</p> <p>1)-1 COVID-19 診療体制の拡充 現地医療施設に個人防護具、酸素マスクなどの医療用品を提供した(別紙参照)。当施設での隔離病棟拡充支援に関しては、2022 年 5 月以降タイ保健省の方針転換により無症状者、軽症者は自宅隔離となり当施設の隔離病棟が閉鎖されたため、行わなかった。現地派遣スタッフによる COVID-19 診療支援は適宜行った。</p> <p>1)-2 ターク県の医療スタッフの再教育 現地医療施設および関連団体スタッフに対して COVID-19 などに関するトレーニングを実施し、知識及び技術の移転を行った。</p> <p>1)-3 ターク県における COVID-19 への対応能力強化 コミュニティボランティア、伝統的出産助産者、移民学校、移民労働者にマスク、消毒液の提供を行った。</p> <p>2) タイ国ターク県におけるミャンマー人移民コミュニティに対する感染予防・健康教育</p> <p>2)-1 COVID-19 を含む院内感染予防対策 当会スタッフが、現地医療施設及び関連団体スタッフに COVID-19 に関する啓発ワークショップを行った。また 2022 年 10 月、当施設スタッフに院内感染が疑われる COVID-19 感染例が発生した際、当施設管理者と共同で院内感染対策を作成し実施した。申請書には食事スペースにパーティションを設置すると記載したが、その後パーティションは感染予防効果が乏しいとの科学的知見が蓄積したため、行わなかった。</p> <p>2)-2 移民学校における COVID-19 感染予防等の健康教育を通じた健康意識の向上 当会スタッフが移民学校で教員、生徒、父兄に対し健康教育を実施、またパンフレット及びポスターを作成、配布した。</p> <p>2)-3 移民コミュニティにおける COVID-19 等の感染予防対策 当会スタッフが、コミュニティボランティア、伝統的出産助産者、移民労働者に健康教育を行った。</p> <p>また事業地メソトのミャンマー人を対象としたラジオ放送局である MAP Radio と協力し、COVID-19 に関するビルマ語のラジオ放送を行った。申請書にはカレン語による放送も行うと記載したが、当会現地スタッフ、ラジオ局スタッフと協議した結果、事業地にはカレン族以外の少数民族もおり、また彼らはビルマ語による放送を理解することから、カレン語による放送は行わなかった。</p>

	<p>3) タイ国ターク県におけるミャンマー人移民への人道支援 関連団体を通じマスクなどの医療用品、オートクレーブなどの医療器具、WASH 関連物品などをミャンマー人移民に提供した（別紙参照）。</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>1) タイ国ターク県における医療機関に対する COVID-19 対応キャパシティの強化</p> <p>1-1) 同地域での COVID-19 診療体制の拡充 消耗品以外の医療器具（オートクレーブ、心電計、アンビユーバッグ、エアマットレス、ネブライザーマシーン、新生児用保温器、起立訓練機器、デンタルマシーン）は院内に責任者を定め、台帳を作成して管理ができるようになった。 当施設の患者情報管理部門の管理台帳によると、2022 年 2 月から 4 月までの COVID-19 の入院患者数は 130 人であった。全員が改善して退院し、同疾患による死亡者数はゼロであった。5 月以降はタイ保健省の方針転換により無症状者、軽症者は自宅隔離となったため、当施設への入院はなくなった。</p> <p>1-2) タイ国ターク県の医療スタッフの再教育 現地医療施設および関連団体のスタッフ延べ 22,899 人に、それらの団体の講師などと協力して、COVID-19 及びそれと関連した母子保健、コミュニティヘルスワーカー育成、First Aid などに関するトレーニングを施行した。COVID-19 の講義前後に理解度をチェックするために 10 点満点のテストを行ったところ、講義前は平均 6.3 点であったが、後は 7.8 点に上昇し、知識の向上が示された。また講義後のアンケートでは、COVID-19 の予防に関する理解が深まった、治療に関する知識を患者を治療する際に役立てたいなどのフィードバックが得られた。</p> <p>1-3) 移民コミュニティの COVID-19 への対応能力強化 コミュニティボランティアなどに COVID-19 抗原検査キットを配布し、使用方法を指導するトレーニングを予定していたが、現在一般人が行える抗原検査キットが普及したため、指導する必要はなくなり当該トレーニングは中止した（変更承認申請第 1 号で報告済み）。 また当会が日本の衛生用品会社現地法人から資材の無償提供を受け、ターク県内の移民学校全 68 校（教員計 618 人、生徒計 11,066 人）に供与した（特記事項参照）。健康教育を行った 8 校の移民学校のうち 7 校の教員計 107 人、生徒計 405 人、父兄 108 人に対してマスク 1,250 枚、COVID-19 抗原検査キット 70 キット、歯ブラシ及び歯磨き粉 各 708 本、シラミ治療用シャンプー 220 本を提供した。コミュニティボランティア 15 人、伝統的出産介助者 26 人、ミャンマー人移民労働者 157 人に対しても、マスク計 280 枚を提供した。</p> <p>2) タイ国ターク県におけるミャンマー人移民コミュニティに対する感染予防・健康教育</p> <p>2)-1 COVID-19 を含む院内感染予防対策 タイ国では 2022 年 4 月ごろより COVID-19 感染者数は減少し、現地医療施設でも 9 月まで抗原検査陽性者数は 1 週間に 10 人以下で推移していた。しかし 10 月中旬約 70 人に急増、当施設のスタッフ 38 人も感染し、院内感染が疑われた。その事態を受けて当施設管理者と現地派遣スタッフが協議し、医療スタッフは週一回抗原検査を行うなどの院内感染対策を策定、実施した。また感染予防のための啓発ワークショップを開催し、全スタッフ 343 人中 276 人が受講した。理解度確認テストの点数はワークショップ前は平均 4.0 点であったが後は 5.8 点になり、理解度が向上した。それらの対策の結果、11 月中旬以降当施設スタッフの新規感染者数はゼロとなり、2021 年に見られたような大規模な院内感染および病院閉鎖には至らなかった。 また COVID-19 検査センターに勤務する医療スタッフ 36 名に、個人防護具の着脱トレーニングを施行した。適切に着脱できているかのモニ</p>

	<p>タリング指標として、トレーニング前後で 18 項目のチェックポイントの評価を行ったところ、トレーニング前は 18 点中平均 8.8 点であったが、後は 14.8 点となり、着脱技術の向上が見られた。またトレーニングの 1 か月後にモニタリングとして再度同様の評価を行ったところ、平均 11.5 点とトレーニング前より高い点数が維持されており、技術の定着が確認された。</p> <p>2)-2 移民学校における COVID-19 感染予防等の健康教育を通じた健康意識の向上 移民学校 49 校の学校保健担当教員 49 人に COVID-19 の健康教育を行ったところ、前後の理解度テストの点数は 4.0 点から 6.0 点に増加し、知識の向上が見られた。また 8 つの学校において教員計 110 人、生徒計 1355 人、父兄計 108 人を対象に、COVID-19、マラリア、デング熱、麻疹、手足口病、衛生（手洗い、歯磨き、洗髪）に関する健康教育を計 10 回行った。前後の理解度テストの点数は 3.0 点から 7.5 点に増加した。また COVID-19 のワクチンに関するパンフレット 3,000 枚およびポスター300 枚を作成し、ターク県の全移民学校 68 校に配布した。</p> <p>2)-3 移民コミュニティにおける COVID-19 等の感染予防対策 コミュニティボランティア延べ 30 人、伝統的出産介助者延べ 52 人に、COVID-19、マラリア及び麻疹に関する健康教育を行った。前後の理解度テストの点数は、3.0 点から 5.0 点に改善した。医療施設や学校以外のミャンマー人移民コミュニティへのアプローチとして、移民労働者支援団体と協力し、移民労働者 157 人にも同様の健康教育を行った。前後の理解度テストでは施行前は 3.8 点、後は 4.7 点と、知識の向上が見られた。</p> <p>また 2022 年 11 月から 2023 年 1 月まで毎週月曜午後 0 時から 1 時に、COVID-19 のリスクファクターやワクチンに関して、メソト全域で聴取できるビルマ語のラジオ放送を計 11 回行った。</p> <p>3) タイ国ターク県におけるミャンマー人移民への人道支援 人道支援として、総額 20,186,718 円の医療物資、衛生用品などを関連団体を通じミャンマー人移民に提供した（別紙参照）。多くの物資は販売会社が直接輸送したが、トイレ関連物資、飲料水用タンク、分娩器具セットなどは当会スタッフが、4 回にわたり関連団体に輸送した。その後クリニックや患者、住民などへの物資提供の状況は、関連団体から会議やメールで報告を受けた。本事業はタイ国の保健システムからこぼれおちやすいミャンマー人移民を対象としており、SDGs のとくにゴール 3「すべての人々に健康と福祉を」、ゴール 4「すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を」の推進に貢献した。感染症などから生命を守り、また生活の質が向上した間接裨益者はターク県のミャンマー人移民、推定 16 万人である。</p>
(4) 持続発展性	<p>当会は 2008 年以降、現地医療施設に医療者を派遣しており、本事業終了後も派遣は継続する。その派遣スタッフが提供した物資の使用状況を現地医療施設、関連団体を通じて確認する。供与した医療器具の半数は長期間使用可能なもので、また責任者および台帳による管理体制を構築したため、今後効率的に管理、維持できる。メンテナンス方法も供与時に伝達しており、適切な管理が期待できる。</p> <p>また現地医療施設や関連団体、移民学校の離職率は低いため、トレーニングを受けた医療者や教員が保健医療活動、教育活動を継続することにより、学んだ知識や技術を継続的に活用することが期待できる。当会派遣スタッフが現地医療施設で医療スタッフの習熟度や感染予防対策の順守状況を、引き続きモニタリングする。</p>